

◆ 令和5年度 港湾の整備目標

鹿児島県では、「県土をつなぐ陸・海・空の交通ネットワークの構築」を図るために、みなとづくりの基本的な方針に基づき、交流・物流機能の強化，観光振興への寄与，安心・安全な暮らしを支えるみなとづくりを進めています。

基本的な方針	整備指標	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値	備考
物流機能の強化 ～活力のために～					
・効率的な物流を支える みなとづくり	公共岸壁の 整備数	150施設	同 左	同 左	令和5年度整備予定箇所 川内港・志布志港・西之表港
安心・安全 ～暮らしを守るために～					
・安心・安全な みなとづくり	防波堤整備延長	15,224m	15,253m	15,321m	令和5年度整備予定箇所 川内港・志布志港・西之表港・ 宮之浦港・安房港・中之島港・ 湾港・亀徳港・和泊港
・災害に強い みなとづくり	耐震強化岸壁の 整備港数	3港	同 左	同 左	令和5年度整備予定箇所 川内港・西之表港 (整備済) 鹿児島港・志布志港・名瀬港

※バース：船の停泊水域。船の接岸できる埠頭数を数える単位

●整備指標についての解説

整備指標	指標の内容	指標の示す目標
公共岸壁の整備数	<p>◆県管理港湾において、物流機能を有する水深4.5m以上の公共岸壁の整備数</p>	<p>◆日本の輸出入貨物や離島貨物の輸送は、海上輸送に大きく依存しており、岸壁の整備により物流コストの縮減、環境負荷軽減を図ることができます。</p>
防波堤整備延長	<p>◆事業実施中の県管理港湾において、港内静穏度確保のための防波堤整備の計画延長に対して、完成断面で整備が完了した防波堤延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施中の防波堤計画延長：18,585m 	<p>◆防波堤が整備されることにより、港内静穏度[*]が確保され、船舶の安全な接岸、係留および操船が可能となり、旅客の乗降や荷役作業の安全性向上等につながります。</p>
耐震強化岸壁の整備港数	<p>◆地震などの大規模自然災害が発生した場合に、海上交通ルートによる避難、救助、緊急物資の輸送の拠点となる耐震強化岸壁の整備港数</p>	<p>◆大規模自然災害発生時には、発災直後から緊急物資の輸送に威力を発揮します。また、背後地に緑地を整備することにより、避難及び物資等の保管場所として利用できます。</p>

※港内静穏度とは…港内の航路や泊地の静穏の度合いを示し、船舶が安全に荷役を行える岸壁前面の波高を設定し、それを満足できる割合で表したものの。

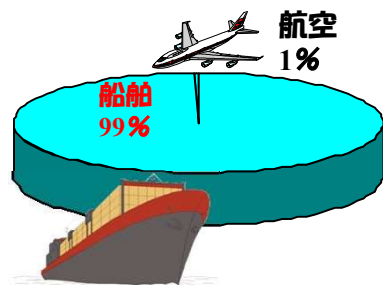
1 物流機能の強化～活力のために～

効率的な物流を支えるみなとづくり →

岸壁の整備

- 鹿児島の地理的優位性を活かし、アジア地域と国内各地域において「安く、早く、安全で信頼性の高い海上物流サービス」を充実させます。

■日本の輸出入貨物輸送の依存率



志布志港(新若浜地区) 岸壁(水深14m)

- 地域における産業の競争力を確保するため、県内生産拠点の近辺に立地する港湾のターミナル機能を強化し、輸送コストの削減、貨物船の大型化に対応していきます。



川内港(京泊地区) 岸壁(水深7.5m)

県管理港湾の公共岸壁整備数
【令和4年度末時点】

水深4.5m以上 150施設

2 安心・安全～暮らしを守るために～

安心・安全なみなとづくり



防波堤の整備

- 離島・奄美地域の生活や産業を支えている定期航路の就航率及び輸送の安全性の向上に寄与する港湾機能の整備強化を図ります。そのために、船舶が安全に航行や停泊が行えるよう港内の静穏度の向上を図ります。



和泊港 防波堤(沖)(北) 延長400m



台風が過ぎても、うねりによる高波が押し寄せ、危険です。

令和5年度の目標
県管理港湾の防波堤整備延長

[R3実績値]	[R4実績値]	[R5目標値]
15,224m	15,253m	15,321m

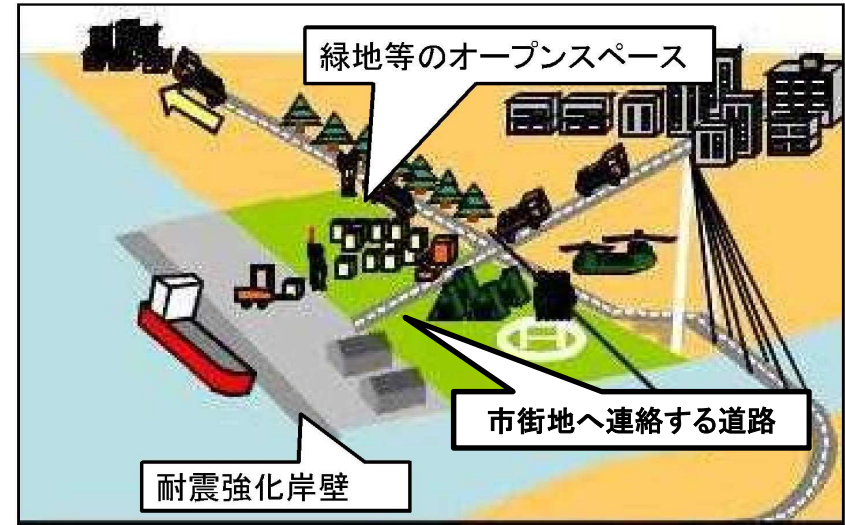
災害に強いみなとづくり



耐震強化岸壁の整備

- 港湾は、海上交通ルートによる避難・救助・輸送を行う上で極めて重要な役割を果たすため、地域の拠点となる港湾については、大規模地震に対する耐震性を備えた岸壁や臨港道路、防災緑地等の整備を進め、震災時の陸上・海上輸送に対応します。

防災拠点としての港湾のイメージ



(国土交通省HPより引用)



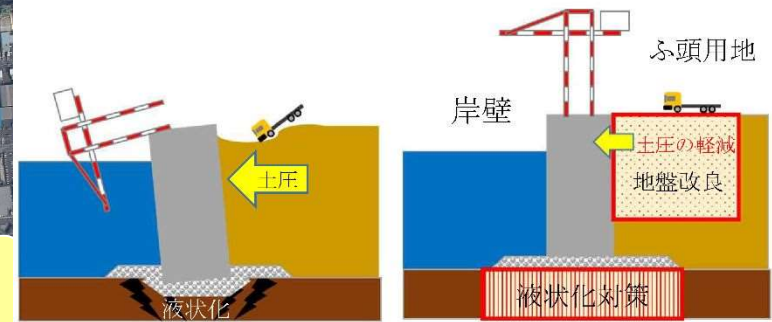
鹿児島港 岸壁(水深9.0m) 1 バース
H26年3月供用



名瀬港 岸壁(水深6.5m) 1 バース
H27年6月供用

耐震強化岸壁
1 バース

一般岸壁と耐震強化岸壁の違い
一般岸壁 耐震強化岸壁



(国土交通省HPより引用)

県管理港湾の耐震強化岸壁整備数(累計)
【令和4年度末時点】

3港 (鹿児島港, 志布志港, 名瀬港)

1 物流機能等の強化～活力のために～

効率的な物流等を支えるみなとづくり

重要港湾 川内港

港湾改修事業

【概要】

- ◇ 川内港は、県北西部に位置する重要港湾であり、建設資材、紙・パルプの原料や製品をはじめとする多くの内外貿貨物を取扱い、県北西部の物流拠点として、重要な役割を果たしています。
- ◇ 県北西部の物流拠点として、港内静穏度を確保するため、防波堤（西）の整備に取り組んでいます。
- ◇ 唐浜地区の新たな岸壁（水深12m）については、コンテナ船や原木船の大型化に対応するため、また、大規模自然災害時における緊急物資等の輸送拠点を確保するため、令和3年度から国の直轄事業として推進しています。

【整備効果】

- 港内静穏度の確保により、航行船舶の安全性、利便性の向上が図られます。
- 新たな岸壁の整備により、物流機能の強化が図られるとともに、大規模自然災害時における緊急物資等の輸送拠点が確保されます。



【令和5年度の整備目標】

- 港内の静穏度向上を図るため、防波堤(西)の整備を推進します。
- 唐浜地区の新たな岸壁やふ頭用地については、国と連携を図りながら、着実な整備を推進します。

2 安心・安全～暮らしを守るために～

安全・安心なみなとづくり 災害に強いみなとづくり

重要港湾 名瀬港

港湾改修事業

【概要】

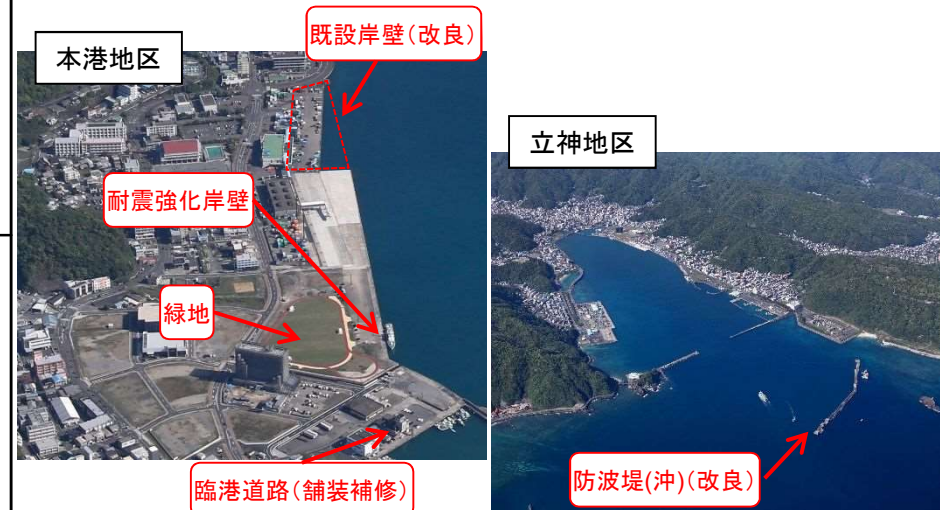
- ◇ 名瀬港は、奄美大島の北西部に位置し、鹿児島～奄美・沖縄を結ぶ定期フェリーなど4航路が就航する海上交通の重要な拠点となっています。
- ◇ 近年は、港内静穏度の向上を図るため、防波堤（沖）の改良や大規模自然災害発生時における緊急物資等の輸送ルートを確認するため、既設岸壁の改良を進めています。

【整備効果】

- 耐震強化岸壁や緑地等の整備により、大規模自然災害発生時における緊急物資の輸送や災害対応空間を確保します。
- 既設岸壁の老朽化対策や沖だしによる荷捌用地の拡張により、港湾利用者の安全性や利便性が向上します。
- 防波堤の改良により、港内静穏度が確保され、利用船舶の安全性及び利便性が向上します。

【令和5年度の整備目標】

- 狭隘な荷捌用地の解消並びに老朽化対策のため、既設岸壁の改良を推進します。
- 港湾利用者の安全性及び利便性の向上を図るため、臨港道路の舗装補修を推進します。



2 安心・安全～暮らしを守るために～

安全・安心なみなとづくり 災害に強いみなとづくり

重要港湾 西之表港

港湾改修事業

【概要】

- ◇ 西之表港は、種子島の北部に位置し、本土や屋久島とを結ぶ生活航路としての定期船の発着港として、島内で営まれる消費・生産等の諸活動に要する物資の取扱い港として重要な役割を果たしています。
- ◇ 種子島・屋久島地域における重要な拠点港でもあることから、地震などの大規模自然災害が発生した際には、海上からの避難・救助・物資等の輸送ルートを実際に確保できる機能が求められています。

【令和5年度の整備目標】

- 港内の静穏度向上を図るため、沖防波堤の整備を推進します。
- 大規模自然災害時における海上からの緊急物資等の輸送に対応するため、洲之崎地区における耐震強化岸壁(水深7.5m)等整備を推進します。

【整備効果】

- 港内静穏度の確保により、定期船や高速船等の入出港時における安全性向上が図られます。
- 耐震強化岸壁等の整備により大規模自然災害時における海上からの緊急物資等の輸送ルートの確実な確保が図られます。

